

科目名	ビジネス学部(経済・経営・法を含む)・科目19	出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数)	41.7%
			(15/36)

設問項目別回答率

【I】

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア	60.0%	イ	20.0%	ウ	13.3%	エ	6.7%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア	33.3%	イ	53.3%	ウ	13.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア	6.7%	イ	33.3%	ウ	33.3%	エ	26.7%
---	------	---	-------	---	-------	---	-------

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア	13.3%	イ	46.7%	ウ	20.0%	エ	0.0%	オ	20.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	-------

(5)この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア	26.7%	イ	46.7%	ウ	26.7%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア	46.7%	イ	40.0%	ウ	13.3%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア	13.3%	イ	53.3%	ウ	26.7%	エ	6.7%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア	13.3%	イ	66.7%	ウ	20.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われるですか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア	40.0%	イ	46.7%	ウ	13.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(10)先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア	53.3%	イ	46.7%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(11)11月の授業内で、「授業改善シート」は実施されましたか。

ア. 実施された イ. 実施されなかった、または、実施時に欠席していた

ア	69.2%	イ	30.8%
---	-------	---	-------

(12)「授業改善シート」の結果を受けて、どの程度授業が改善されましたか。

ア. かなり改善された イ. ある程度改善された ウ. あまり改善されなかった エ. 全く改善されなかった

ア	21.4%	イ	64.3%	ウ	14.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(13)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア	13.3%	イ	73.3%	ウ	6.7%	エ	6.7%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(14)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない

ア	13.3%	イ	46.7%	ウ	33.3%	エ	6.7%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(15)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア	20.0%	イ	33.3%	ウ	33.3%	エ	13.3%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(16)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

ア	7.1%	イ	50.0%	ウ	42.9%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(17)自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア	26.7%	イ	60.0%	ウ	13.3%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(18)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア	26.7%	イ	26.7%	ウ	46.7%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

## 【Ⅱ】

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

- (19)専門性を高めたいから (20)興味・関心を持ったから (21)友達・先輩が取ったから  
(22)時間割上の都合から (23)簡単に単位が取れそうだから (24)必修だったから

(19)	60.0%	(20)	40.0%	(21)	6.7%
(22)	53.3%	(23)	6.7%	(24)	20.0%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

- (25)ビデオなど視聴覚教材の活用 (26)power pointなどのIT教材の活用 (27)上手な板書  
(28)話題や例示の妥当性 (29)この中にはない (30)満足している

(25)	6.7%	(26)	6.7%	(27)	13.3%
(28)	20.0%	(29)	20.0%	(30)	26.7%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

- (31)教室での対話 (32)教室外での対話 (33)e-mail (34)オフィスアワー  
(35)レポートによる感想や意見 (36)この中にはない (37)その他

(31)	26.7%	(32)	33.3%	(33)	13.3%	(34)	20.0%
(35)	20.0%	(36)	20.0%	(37)	0.0%		

### ①自己評価

30回(定期試験の回を含む)を通じて平均出席率が約50%超で、アンケート回答率が41.7%であったから、今回のアンケートは必ずしも平常の授業全体のあり方を反映するものでないと考えられる。それでも、今後の授業改善のための有益な情報であると担当者は受け止め、アンケートから得られた数値的な結果から反省を含めて自己評価を行う。

【Ⅰ】について

(1), (2), (3): (1)=毎回ないし大体出席が80%, (2)=かなりないしやや積極的が約80%, (3)=かなりある程度自学自習をしているが約40%。成績評価に加算される出欠調査があるから、授業には出てくるけれども、自学自習にはいたらないということだろう。学生がやる気を左右するのは、教員のカや工夫によるところが大であると考えている。

(4): シラバスは役立ったかについてであるが、「かなり役立った」と「ある程度役立った」を合わせて60%である反面、「あまり役立たなかった」が20%である。シラバスは主要テーマの見出しのみしか表記していないから、もう少し噛み砕いた表現で、シラバス作成をする必要があったのかもしれない。シラバスの字数制限のため、授業内での配布資料などによるキーワードや専門用語の解説の補足を行おうと思っている。

(5): 授業の分量は、理想的な「適当である」が26.7%と低迷、「かなり多い」と「やや多い」とを合わせておよそ73%。分量からいえば、この授業は受講生に対し、少なからずストレスを与えているようだ。しかし、本授業ではシラバス明記のマクロ経済学でおこなうべき標準的な分量のおよそ3分の1と達成度は低い。速度をあげる手立てを模索しつつつけたいところだが、内容を絞り、絞られた内容をより確実に理解してもらえよう工夫をするという本年度の方向で今後も授業を行いたい。

(6)・(7)・(15): (6)の授業の難易度は、理想の「適当である」が13.3%とこれまた低迷し、「かなり難しい」と「やや難しい」が86.7%であった。多くの学生が、この科目を難しいとらえている。これと関連しているかもしれないが、(15)の理解度も、理解できるグループと理解できないグループで、ほぼ2分されている。難解な話をおよそ90分間に渡りなされる場合の負荷は、並みのものでないであろう。(7)の説明の分かりやすさは、理想の「かなり分かりやすい」が13.3%と難易度を「適当」と答えた学生の割合に一致。反面、「やや分かりやすい」が、53.3%、「やや分かりにくい」と「かなり分かりにくい」とをあわせて33%。分からない学生の割合は、適切な具体例・例示・たとえ話・視聴覚教材と工夫により低下するものと考えるので、試みたい。

(8): テキストとレジュメは、「かなり役立つ」と「ある程度役立つ」があわせて80%と、反面、あまり役立っていないが20%(3人)。この点は、大きく逸脱していなかったようだ。

(9): 準備量は、客観的に測定しにくい項目ではないかと思われる。主観評価と客観評価が一致することはあるのかどうか。したの表で、ほとんどの場合、AないしDになるのであれば問題はないと思うけれどもどうだろうか。Aがベストで、Dはワーストであることは自明だろうけれども、CとDのケースがよくおこりうる場合、どちらがのぞましいのであろうか。

	学生から見て準備している	学生から見て準備していない
教員は頑張っている	A	C
教員は手を抜いている	B	D

(10): 熱意と意欲は、「かなり」と「ある程度」100%の回答であった。意欲や熱意で空回りしないよう冷静に自身の充実をはかりたい。

(11)・(12): 授業改善シートは、第15回目の6月10日に実施し、その後どう改善したいか宣言し、ある程度実行できたつもりだし、これは客観的評価(「かなり改善」と「ある程度改善」とをあわせて85%)とも一致しているように思える。

(13): 受講生の質問などには、公平・公正の観点から答えられない場合を除き、向き合うよう努めているつもりだけれども、時折失念し、結果的に受講生の期待を裏切った場面もあったかと思う(「あまり説明がなかった」と「全く説明がなかった」でおよそ13%)。これについて、この場を借りてその受講生たちに心から「大変申し訳ありませんでした」とお詫びする。

(14): 学習意欲喚起については、喚起されるとされないが2分されている。なぜ経済学を、いやもっと広げて社会科学を学ぶのか、いやさらに視野を広げてかならずしも実用的でない学問をなぜするのか、という学生の側に潜在的ながらも顕示された雰囲気により至る所で露呈しつつけているような問いに十分に答えられていないから、こうした結果になるのかもしれない。これについての担当者の意見は、②で略述することにした。

(16): 授業の満足度。これは、教学面で「本学に来てよかった」を左右するもっとも重要な質問項目である。担当者の場合、満足と不満で2分されている。先述の項目であげた、担当者の力量でいまずぐ可能な工夫も含めて、よくよく考えさせていただき余裕を、お許し願いたい。

(17)・(18): 自分を作り上げる上で、役立つと答えた受講生が80%強。全く役立たないが0%。これだけで、担当者なりに授業に向き合った努力が報われていると思いたいが、そこへ項目(16)が注意を促している。事実、この授業を他人に薦めたいかどうかは、薦めたいグループと、薦めたくないグループで、半々の構成となっている。担当者の目指す方向性と学生が求めている方向性をどのように突き合せ、模索的にではあれ、どのような第三の方向性を見出すかが大きな課題だともう。

## 【Ⅱ】について

視聴覚教材の活用などの工夫と学生との対話を大切にしよう心がけたい。

### ②評価に対する教員の思い

自由記述で「板書が多すぎて理解しづらい」との声があり、至らなさを感じる。具体的には、板書事項に、混乱を含んでいたのかもしれないので、本年度作成した授業ノートを点検したい。ただ、担当者は、学生時代理論経済学の講義で、あまりにもシンプルすぎる板書で、文字通り「取り付くしまもなく」手も足も出ず苦勞した経験がある。この点は、どうか。板書を減らし授業で最低限伝えるべき内容を維持するというは一見トレードオフだが、比較的詳しい書き込み用の教材を作成すれば、多少なりとも改善されるのではないかとの思いもよぎる。ただ率直には、こうした教材の準備は、早速明日からというわけには行かないので、少しずつ積み上げていくつもりだ。当面は、主として教科書に依存せざるをえないので、理解不十分な点は、教科書をよく活用してもらいたい。

学生に対する要望をひとつだけ。現在の本学の学生を見ていると、出席重視で、相当な学習負担を負っているのはわかる。極端な話、ただ一つの科目でもいいから、自ら学び、考えをまとめ、教員や友人と対話し、それらから得られる喜びを少しでも経験してもらいたい。そういう学生が一人でも教室にいれば、教員の意識や授業への積極性はより一層高まるのではないかと思う。その意味では、教員側の授業改善と学生側の受講の構えは表裏一体ではないだろうか。

### ③より充実した授業のために・・・自己評価を踏まえての目標と課題

これまで蓄積されてきた通説を解説するというのは大前提であると考えているが、最新の研究成果や経済理論と現実がどのように関連するかという観点からの時事問題の解説も取り込めるよう努力したい。

本年度は、授業で解説した内容の理解と応用力を試す宿題を10回出題し、大半の学生がまじめに取り組んでくれた。この試みは、プラスに作用したと受け止めている。さらに、授業展開の工夫としては、繰り返しになるけれども、視聴覚に働きかける工夫をすることや適切な事例やたとえ話をするのは、抽象的な理論の理解を促進する上で、大切ではないかとの立場から、この方面のアンテナも張り、材料をストックし、これらを学生にフィードバックできるよう努めたい。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて公表します。

学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。